

平成 24 年度当初予算における重点施策

平成 24 年度は、安心・安全で活力あるまちづくりを進めるため、後述の「平成 24 年度主要施策等一覧」にある項目に沿って、各種施策を積極的に展開してまいります。

その中でも、特に優先して取り組む施策として、未曾有の災害となった東日本大震災を踏まえた「防災対策関連分野」と、厳しい状況が続く中、地域資源や知名度を活用し地域経済の活性化を図る「経済・雇用対策関連分野」について、重点的に取り組んでまいります。

■防災対策関連

1 防災体制づくり

- | | |
|------------------------------|------------|
| ○防災関係経費（避難所機能強化事業） | 8, 872千円 |
| 市内68避難所に非常用食糧や防寒対策用品等を計画的に配備 | |
| ○北海道総合行政情報ネットワーク改修事業費負担金 | 2, 429千円 |
| 北海道と道内市町村を結ぶ防災行政無線システムの更新 | |
| ○高機能消防指令センター整備事業費 | 544, 200千円 |
| ○消防救急無線デジタル化事業費 | 10, 000千円 |
| 通常時・災害時を問わず安定した通信指令業務対応の確保 | |
| ※平成 23 年度 1 定補正予算（繰越明許費） | |
| 防災行政デジタル無線整備事業費 | 46, 567千円 |
| 市役所と各避難所の通信手段の確保 | |

2 災害に強いまちづくり

- | | |
|-----------------------------------|---------------|
| ○校舎等改築及び耐震補強等事業費（緑小、手宮小、桜小） | 85, 900千円 |
| 安心・安全な教育環境の確保及び災害時の指定避難場所の確保 | |
| ○病院統合新築事業（災害拠点病院） | 2, 895, 360千円 |
| 小樽病院と脳・循環器・こころの医療センターを統合し新市立病院を建設 | |
| ○上下水道耐震化事業費 | 555, 910千円 |
| 災害に強い上下水道施設の整備 | |
| ○橋りょう長寿命化修繕計画策定事業費 | 3, 500千円 |
| 市内135橋について修繕等の必要性を点検し維持管理計画を策定 | |
| ○銭函地区河川防災事業費 | 26, 000千円 |
| 銭函地区5河川の土砂を取り除き大雨等による浸水被害を防止 | |
| ○（市営住宅改善事業費のうち）道宮若竹団地1号棟耐震・リモデル工事 | 250, 000千円 |
| 道宮若竹団地1号棟を市に移管し、耐震・リモデル事業を実施 | |
| ○維持管理計画策定事業費 | 4, 200千円 |
| 臨港地区にある3橋に係る点検及び補修計画の策定 | |
| ※平成 23 年度 1 定補正予算（繰越明許費） | |
| 校舎等増築及び耐震補強等事業費（花園小） | 405, 832千円 |
| 校舎耐震補強及び大規模改造事業費（長橋中、桜町中） | 337, 263千円 |
| 安心・安全な教育環境の確保及び災害時の指定避難場所の確保 | |

■経済・雇用対策関連

1 小樽らしい観光地づくり

(1) 国際観光の推進

○小樽国際インフォメーションセンター事業費 11,500千円
外国語対応窓口を運河プラザ1か所に集約し総合窓口を開設

○東アジア圏観光客誘致広域連携事業費補助金 3,500千円
ニセコ町、倶知安町、札幌市と連携し外国人観光客誘致対策を実施

(2) クルーズ客船誘致に向けた環境整備

○環日本海クルーズ推進事業費 3,311千円
日本海側拠点港3港を連携しクルーズ客船誘致活動や情報収集等を実施

○港湾計画改訂事業費 8,000千円
港湾計画改訂の一環として第3号ふ頭及び周辺の再開発計画を作成

○第3号ふ頭周辺利用高度化事業関係

・合同庁舎周辺整備事業費 19,450千円

・第3号ふ頭岸壁改良事業費 37,000千円

クルーズ客船対応としての環境整備及び物流・交流空間としての基盤整備（道路、岸壁改良ほか）

○岸壁附帯施設改修事業費 38,200千円
老朽化したエプロン舗装の改良による施設の延命化及び大型クルーズ客船の寄港に対応可能な係船柱などの機能強化

2 地域経済を支える中小企業の振興と雇用対策

(1) 小樽ブランドの確立

○小樽ブランド力推進事業費 7,350千円
顧客目線を重視した本来のブランド商品開発に向けたコーディネートを継続的な販路確保とともに実施

○地場産品導入促進事業費 2,000千円
地域資源であるガラスの周知と活用を促すため小学生の卒業記念としてガラス製品の製作体験を行う費用を助成

(2) 企業誘致と雇用対策

○高校生就職スキルアップ支援事業費 1,260千円
主に高校1・2年生を対象に、市内企業への定着を図るため、就職活動の実践能力向上事業を実施

○企業立地トップセミナー開催事業費 2,300千円
本市への企業立地を促進するため首都圏企業等を対象に市長によるトップセミナーを東京において開催

(3) 地場企業の活性化

○東アジア等販路拡大支援事業費 3,640千円
新たに海外へ商品を輸出する際の手続費用や商談会・展示会への出展費用を助成

○「小樽の食品」海外販路開拓支援事業費 10,716千円
東アジア進出に意欲のある市内企業を募集し販路開拓に効果的な海外見本市へ出展

○住宅リフォーム助成事業費 21,200千円
住宅リフォームに要する費用の一部を助成し住環境の整備並びに市内産業の活性化を推進